

第234回 eポートフォリオ導入・運用の 課題と改善策：教員養成の場合

- 2010年頃から教職課程でのeポートフォリオを導入
 - きっかけは「教職実践演習」の必修化 記入例もある
- eをやめて紙媒体のポートフォリオに戻る大学も
 - e:信州, 熊本 / 紙: 京都, 愛媛 / e→紙: 秋田
- 信州大学教育学部を事例に見る課題と解決策
 - 学生側: 「観点別自己評価」が面倒
 - 費用面: 継続運用のためにかかるコスト
 - 管理面: 未記入学生への対応(個別指導)
- 教職eポートフォリオをもっと普及する秘策は？

中央教育審議会答申(2006.7.11)「今後 の教員養成・免許制度の在り方について」

今後の教員養成・免許制度の在り方について(答申のポイント)

—教員に対する揺るぎない信頼を確立するための総合的な改革の推進—

資料6-1
中央教育審議会分科会
(第58回) H18.7.24

改革の重要性

現在、教員に最も求められていることは、広く国民や社会から尊敬と信頼を得られる存在となること。養成、採用、研修等の改革を総合的に進める必要があるが、とりわけ教員養成・免許制度の改革は、他の改革の出発点に位置付けられるものであり、重要。

改革の方向

①大学の教職課程を、教員として必要な資質能力を確実に身に付けさせるものに改革する。

②教員免許状を、教職生活の全体を通じて、教員として必要な資質能力を確実に保証するものに改革する。

改革の具体的方策

1:教職課程の質的水準の向上

—学部段階で責任を持って教員として必要な資質能力を確実に身に付けさせるための改革—

◆大学における組織的指導体制の整備

・「教職実践演習(仮称)I」の新設・必修化(2単位)
「使命感や責任感、教育的愛情等を持って、教科指導、生徒指導等を実践できる資質能力」を最終的に形成し、確認

2:教職大学院制度の創設

教職実践演習

2010年度入学生から必修化

→4年次生になる2013年度から開設・実施

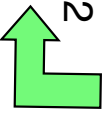
3:教員免許更新制の導入

4:その他

◆上進制度

勤務実績を適切に評価する方向で改善

- 入学の段階からそれぞれの学生の学習内容、理解度等を把握(履修する学生一人一人の「履修カルテ」を作成)←[文部科学省から例が示されている](#)



「教職実践演習」で求められている 「履修カルテ」例

〇〇〇〇大学教職課程 履修カルテ① <教職関連科目の履修状況>

学籍番号・所属・氏名 等

1. 教職関連科目の履修状況

区分	授業科目名	単位	修得年度	教員名	評価	履修者の具体的な傾向・特徴
	国語科指導法	2	H23	〇〇 〇〇		小学校国語科に関する基礎的な知識・技能は身につけているが、教材の開発・作成能力については不十分な部分が見られる。

(※各大学で分類)

2. 教職に関する学外実習・ボランティア経験等の状況

履修者の具体的な傾向・特徴

必要な資質能力に関する評価についての記入

各年度の終わりに、以下の事項について記入。

- 各学生が、必要な資質能力についての自己評価を記入
- 担当教員が、各学生について、必要な資質能力が身につけているかについての評価を記入

教職指導への活用

履修カルテを学生の教職指導に活用。

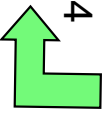
- 必要に応じた苦手分野の補完的な指導の実施
- クラス毎の指導計画の策定 など

eポートフォリオか、紙媒体か

- 最初からeポートフォリオ（またはオンライン作成）
 - 信州大学「教職eポートフォリオ（履修カルテ）」
 - [熊本大学「履修カルテ」](#)
- 最初から紙媒体
 - 京都大学 [『教職実践演習ワークショップ—ポートフォリオで教師キャリアアップ』](#)ミネルヴァ書房, 2013年
 - 愛媛大学 「リフレクション・デイ」に持ち寄って発表
- 最初はeポートフォリオ → 紙媒体に変更

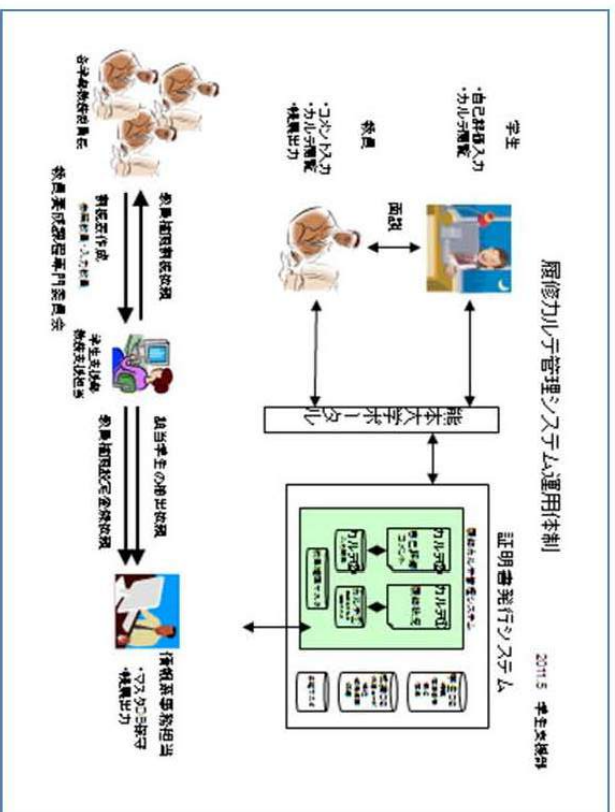
– [秋田大学](#)

©2015 谷塚光典



熊本大学 「履修カルテシステム」

Ⅱ・1 運用体制



○学生と教員は、熊本大学ポータルにある履修カルテシステムから自己評価やコメント入力を行う。

Ⅱ・2 入カルール

○本システムは、学内外から入カ・参照できるものとする。
○在籍中の学生のみ、各人の入カ・参照できるものとする。

- 1 運用体制
○学生と教員は、熊本大学ポータルにある履修カルテシステムから自己評価やコメント入力を行う。
- 2 入カルール
○本システムは、学内外から入カ・参照できるものとする。
○在籍中の学生のみ、各人の入カ・参照できるものとする。

京都大学

「教職課程ポートフォリオ」



「履修カルテ（自己評価用
チェックリスト）」に示した「目標
到達の確認指標」については、
ポートフォリオのセクションの扉
にて「対応する科目」を明示し、
それぞれの科目での到達を求
めています。また「履修カルテ
（自己評価用ルーブリック）」に
ついては、それぞれの柱で必
須の成果資料を指定し、教職
実践演習までに確実に合格シ
ベルに到達できるような取り組
みを促しています。

秋田大学 「教職ポートフォリオ・システム」

秋田大学において教育職員免許状を取得する場合には、あきた教職.netに登録の上、教職ポートフォリオへの記録・蓄積が必要になります。大学へ入学した時、教育実習を始めた時、就職活動を始めた時など、その時々々の教育観や子ども観、成長観を記録することから、教職課程を履修した軌跡として残しましょう。

信州大学教育学部を事例に見る課題（と解決策）

① 学生側：「観点別自己評価」が面倒

- “Completing a portfolio is a difficult, time-consuming, and a very rewarding task.”
 - <http://www.pecentral.org/jobcenter/portfolio tips.html>
- A大学の学生からの意見（改善要望）
 - 1年次から徹底しなぜするのか明確化してほしい。
 - 何が目的なのかわからない。
 - 質問の項目が多すぎる。似たような質問も多いので質問項目をもっと少なくしてほしい。
 - 書くための手間が多い。



信州大学教育学部を事例に見る課題(と解決策)

② 費用面：継続運用のためにかかるコスト

・ 毎年かかるコスト(H26実績)

- サーバ脆弱性テスト \ 5,580
 - ウイルス対策ソフト更新 \ 16,200
 - ツール・サービス等最新版適用作業 \216,000
 - その他メンテナンス \129,600
 - (小～中規模なシステム改修 \513,000)
- ・ 何年かおぎにかかるコスト(実績+見込み)
- サーバ更新 \2,000,000程度
 - 大規模なシステム改修 \300,000～500,000

人件費は
含まれず！



信州大学教育学部を事例に見る課題（と解決策）

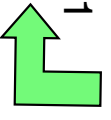
③管理面：未記入学生への対応（個別指導）

- 提出（進捗）状況一覧もある
 - 記入していない学生に個別連絡が必要
 - 学生に
 - 指導教員に
- ✓ 自動通知機能があるという
- リマインド
 - 催促

項目	期間	入力開始	締切日	開示日	提出済/未提出
観点別自己評価	2年末	2015/04/01	2015/05/20	2015/04/01	29/4
目標と総合評価	自己総合評価(2年)	2015/04/01	2015/05/20	2015/04/01	31/2
相互評価	自分の目標(3年)	2015/04/01	2015/05/20	2015/04/01	32/1
エビデンス	2年末	2015/04/01	2015/05/20	2015/04/01	25/8
	1年	—/—	—/—	—/—	0/0
	PR	—/—	—/—	—/—	0/0
項目	期間	入力開始	締切日	開示日	提出済/未提出
観点別自己評価	2年末	2015/04/01	2015/05/20	2015/04/01	12/6
目標と総合評価	自己総合評価(2年)	2015/04/01	2015/05/20	2015/04/01	14/4
相互評価	自分の目標(3年)	2015/04/01	2015/05/20	2015/04/01	13/5
エビデンス	2年末	2015/04/01	2015/05/20	2015/04/01	5/13
	1年	—/—	—/—	—/—	0/0
	PR	—/—	—/—	—/—	0/0
項目	期間	入力開始	締切日	開示日	提出済/未提出
観点別自己評価	2年末	2015/04/01	2015/05/20	2015/04/01	22/4
目標と総合評価	自己総合評価(2年)	2015/04/01	2015/05/20	2015/04/01	24/2
相互評価	自分の目標(3年)	2015/04/01	2015/05/20	2015/04/01	25/1
エビデンス	2年末	2015/04/01	2015/05/20	2015/04/01	17/9
	1年	—/—	—/—	—/—	0/0
	PR	—/—	—/—	—/—	0/0

教職eポートフォリオを もっと普及する秘策(谷塚私案)

- eポートフォリオである必然性
 - 紙媒体ではできないこと: 相互コメント
- eポートフォリオの効果
 - 教育実践研究として、効果を明らかにしていく
- 在学中だけではなく卒業後も利用できる仕組み
 - 教員免許申請・更新での利用・・・米国のように
 - 教員採用試験・採用面接での利用
 - 教員免許国家試験(?)での利用
 - 標準化・共通化: 現在は各大学で独自開発 → 米



asahi.com: 教員資格「国家免許に」 共通試験も想定 自民党が提言 (5/12)

朝日新聞デジタル > 記事

政治 国政 教育・子育て 教育制度・話題

教員資格「国家免許に」 共通試験も想定 自民党が提言

蔵前勝久 2015年5月12日 14時59分

743 ツイート 1330 45

シェア ツイート B1 フォルマット メール 印刷

自民党の教育再生実行本部(本部長・遠藤利明衆院議員)は12日、教員免許を国家による免許とする提言をまとめた。現在は大学の教員養成課程を修了すれば、大学のある都道府県の教育委員会が免許を与えている。提言は、課程修了後に全国共通の国家試験を課して、国が免許を与える仕組みを念頭に置いている。

同日昼、遠藤氏は安倍晋三首相に提言を手渡した。実行本部幹部は「文科科学相が教員免許を出すことで、教員の社会的価値を高めると語る。教員の質を一定に保つ目的もある。

提言では、教員免許は国が与える「国家免許」化をめざすとした。実行本部幹部によると、教員養成課程を修了後、全国共通の国家試験を受験し、合格すると1〜2年程度の研修を経て国が免許を与えることを想定している。その後、それぞれの自治体で採用面接を受けるといった流れだ。

米国の教職eポートフォリオ（商用） TaskStream、LiveText

- 大学在学時から卒業後まで利用可能
- 費用は学生が負担（key codeを購入または大学から配布）

